

**グリーンオフィス推進プログラム**  
**(岡山県地球温暖化防止実行計画)**

**平成22年度実施結果報告書**

**平成23年10月**

**岡山県**

## I グリーンオフィス推進プログラムについて

県では、「岡山県環境基本計画」に基づき、事業者・消費者のひとりとしての率先行動として、平成10年11月に「グリーンオフィス推進プログラム」（以下「GOP」という。）を策定し、すべての県組織を対象に、日常の事務事業における環境負荷の低減を進めてきた。平成12年度末をもって当初の計画期間（第1期）が終了し、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下「地球温暖化対策推進法」という。）の施行により、地方公共団体に温室効果ガスの排出の抑制等のための措置に関する計画（以下「地方公共団体実行計画」という。）の策定が義務付けられたことに伴い、GOPを本県の地方公共団体実行計画として全面的に改正し、平成13年度から平成17年度を計画期間（第2期）として取り組んできた。引き続き、平成18年度から平成22年度を計画期間（第3期）として、全庁的に環境配慮の推進に取り組んだ。

## II 目標及び達成状況

### 1 取組目標に対する取組結果

県組織の全ての所属（出先機関等を含む）において、次表のとおり7項目について平成22年度目標を設定し、取組を行った。

項 目	基 準 平成16年度	目 標 平成22年度	実 績		増 減 率
			平成21年度	平成22年度	
*自動車燃料使用量（ℓ）	2,860,862	2,832,000	2,608,401	<u>2,473,894</u>	△13.5
*庁舎用燃料使用量（ℓ）	2,269,113	1,998,000	1,296,253	<u>1,539,335</u>	△32.2
*電力使用量(kWh)	93,882,620	92,739,000	84,007,709	<u>86,693,025</u>	△7.7
複写機用紙使用量(枚)	111,260,476	105,806,000	112,289,097	115,692,656	4.0
事務用封筒使用量(枚)	743,519	681,000	466,005	<u>495,182</u>	△33.4
水道水使用量(m <sup>3</sup> )	1,223,717	1,208,000	962,364	<u>988,413</u>	△19.2
廃棄物の排出量(kg)	2,545,212	2,189,000	2,610,902	2,249,888	△11.6

注) 1 取組目標欄の\*印は、直接的に温室効果ガスの削減に関する取組項目

2 「増減率」は、平成22年度実績と基準年（平成16年度）の比較

3 アンダーラインは、平成22年度目標を達成したもの

○ 「自動車燃料使用量」、「庁舎用燃料使用量」、「電力使用量」、「事務用封筒使用量」、「水道水使用量」については、平成22年度目標を達成した。

○ 「複写機用紙使用量」については、基準年(平成16年度)より増加した。

## 2 温室効果ガスの総排出量に関する目標に対する取組結果

GOPは、「地方公共団体実行計画」として位置づけており、県の事務事業により生じる温室効果ガスの排出量の削減目標を設定している。

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

	基準 平成16年度	目標 平成22年度	実績		削減率
			平成21年度	平成22年度	
総排出量	57,700	55,251 (4.2%削減)	48,029	<u>51,093</u>	△11.5%

注) 1 排出量は、電力や燃料等の種別ごとに、その使用により排出される温室効果ガスの量を示す係数(排出係数)を乗じて算定している。この排出係数は年度により変動するが、取組の達成状況を明らかにするため、基準年(平成16年度)の係数を用いて統一的に算定している。

2 道路照明、信号機、滑走路照明等の使用・維持により排出する温室効果ガスについては、基準及び削減目標から除いている。

3 「削減率」は、平成22年度実績と基準年(平成16年度)の比較

4 アンダーラインは、平成22年度目標を達成したもの

○ 「温室効果ガス総排出量」については、平成22年度目標を達成した。

### 【参考1：要因別温室効果ガスの排出状況】

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

排出要因	ガスの種類	平成16年度	平成21年度	平成22年度	削減率
燃料の使用	CO <sub>2</sub> , CH <sub>4</sub> , N <sub>2</sub> O	19,510	13,002	13,805	△29.2%
電気の使用	CO <sub>2</sub>	35,488 (43,546)	32,772 (38,610)	35,087 (40,921)	△1.1% (△6.0%)
その他	CO <sub>2</sub> , CH <sub>4</sub> , N <sub>2</sub> O, HFC	2,702	2,255	2,201	△18.5%
合計		57,700 (65,758)	48,029 (53,868)	51,093 (56,927)	△11.5% (△13.4%)

注) 1 ( ) は、道路照明等の使用・維持により排出する温室効果ガスを含んだ排出量

2 「削減率」は、平成22年度実績と基準年(平成16年度)の比較

3 「その他」は、公用車等の使用(自動車の走行、カーエアコンの使用等)、農畜産によるものである。

4 温室効果ガスの種類については、CO<sub>2</sub>は二酸化炭素、CH<sub>4</sub>はメタン、N<sub>2</sub>Oは一酸化二窒素、HFCはハイドロフルオロカーボン類である。

## 【参考2：平成22年度排出係数による温室効果ガス総排出量】

電力の排出係数については、発電に使われた化石燃料等の比率により毎年変動する数値であり、平成22年度の温室効果ガス総排出量を平成22年度排出係数を基に算定すると73,630t-CO<sub>2</sub>となる。

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

区 分	平成22年度総排出量	備考（電力排出係数）
平成16年度排出係数による数値	51,093 (56,927)	0.378
平成22年度排出係数による数値	73,630 (83,323)	0.628

- 注) 1 平成16年度と平成22年度とで電力の排出係数が大きく変動したのは、政令において、排出係数の算出に用いる発電で使用した化石燃料等の比率の区分を全国ベースから発電事業者毎とするよう取扱いが変更されたことによる。
- 2 ( ) は、道路照明等の使用・維持により排出する温室効果ガスを含んだ排出量

## Ⅲ 取組の評価等

### 1 取組の評価

平成11年度から11年間にわたる取組の結果、環境に配慮した事務事業の実施というGOPの趣旨が職員に定着し、一定の成果は得られている。

特に、自動車燃料や庁舎用燃料、電力などのエネルギー使用量の削減が進んだことで、温室効果ガスの総排出量の削減が進み、目標値を大きく上回る成果があった。一方、廃棄物の排出量についてはあと僅かで目標が達成出来なかった。また、複写機用紙使用量については削減が進まなかった。

### 2 今後の取組について

第3期の取組結果と、県域全体を対象とする岡山県地球温暖化防止行動計画をもとに、第4期GOPとして地球温暖化防止行動計画（事務事業編）を策定し、引き続き行政の率先行動として、事業者・消費者の立場での環境配慮の取組を強力に進め、事務事業の実施における省資源・省エネルギー、グリーン購入、廃棄物の減量などを図っていく。